

看護実習をどのように進めるか



看護実習や臨地実習は講義で学んだことを確認する場であると同時に、患者や看護師とじかに向き合い、「ケアの看護」とは何かを体験的に学ぶ場でもあります。学生の心のゆらぎにどう対応したらよいか、知識と体験・経験をどうつなげていったらよいか、実習指導者との連携をどのように進めたらよいか、実習と他の講義科目との接続をどう考えたらよいか……。いくつかの事例をふまえながら、共に考えたいと思います。

講師

星槎大学大学院 **三輪 建二**



教育実践研修科では「専門職者の職能開発」「生涯学習特論」などの授業を受け持っています。看護専門学校教員や新人・中堅看護師向けの研修講師を数多く手がけています。

リフレクションをめぐる基本書であるD・ショーン『省察的实践とは何か』（鳳書房、2007年）の翻訳者です。

日時 2017年11月18日（土） 18:00～20:00

費用 無料

自宅からも参加可能！

※PC・タブレットが必要です。

場所 星槎大学大学院

神奈川県横浜市中区日本大通11
横浜情報文化センター5F

（みなとみらい線日本大通駅下車3番出口徒歩0分）
駅の真上の建物が会場です。



参加をご希望の方は下記よりお申込みください。

TEL 045-212-3830

Mail info_gr@seisa.ac.jp

※受付時間：9：00～17：00

